

道路の路面下空洞調査の実施報告について

令和7年5月13日、下図の主要な市道3路線の泉佐野熊取線、笠松末広線、佐野山手線で、路面下空洞探査車を用いて、空洞調査を実施いたしました。

これらの3路線は、市内でも交通量が非常に多く、様々な地下埋設物が入っているため、路面下に空洞ができる可能性があると考えられます。

調査データを解析後、空洞の可能性が高い箇所については、7月14日に掘削調査を実施して、空洞確認を行い、安全性を確認いたしました。

調査目的：路面陥没による第三者被害を防止し、安全かつ円滑な通行を確保する。

調査延長：約10km

掘削調査：4箇所を実施し、路面下の安全性を確認する。

